



第3回公開授業研究会(小6総合) 「北川村の伝統を受け継ぎ、広めよう」

北川村で五穀豊穡や健康長寿を願って、千年以上も続いている伝統行事であるお弓祭り。役場の方や総代の新井さん、神主の南さんにインタビューをしたり実際に星神社で体験活動をしたりして、学びを深めてきました。学習を進めていく中で、お弓祭りに関わる人々の思いや願いを知ることができました。本時では、ゲストティーチャーとして総代長の濱渦さんと総代の新井さんを迎え、お弓祭りのために自分たちができることを話し合って学級全体の優先順位を考えました。発表時には、どんな理由で順位を付けたのか伝えたり、互いの意見を聞き質問し合ったりしながら、よりよい活動内容になるように活発な議論が行われ、思考を深めることができていました！



今までの学習を振り返る
「お弓祭りに関わる人に話を聞いたり、体験活動をしたりした」



体験活動やインタビューをして、色々な人の思いや願いが似ていることに気付いた



みんなに受け継いでいってもらいたい、興味をもったことを手伝ってもらいたいと言っていた



人口が減り、祭りに参加できる人が少ない、このままだと(祭り)がなくなる可能性も…



自分たちができることを考えたからピラミッドチャートで話し合って決めよう



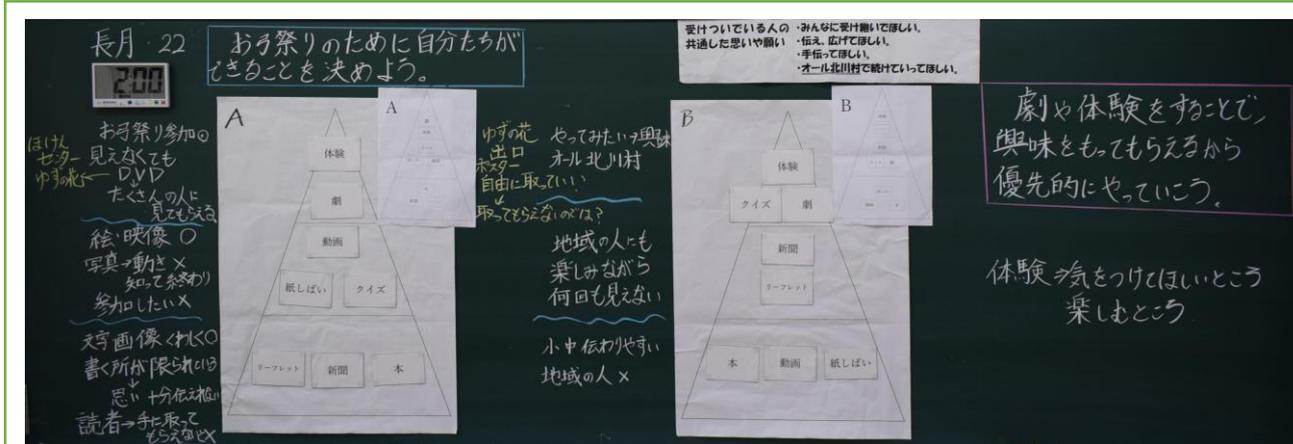
子どもの発言を板書したり、他の子どもに問いかけたりして共有する



ゲストティーチャーからは「みんなで意見を戦わせていることがまた一歩前進、素晴らしい！」と感想をいただきました



振り返りでは、「今日は、地域の人に興味を持ってもらえるような事を選んだ、選んだことをやっていたい」と前向きな意見が出ていました



共通取組事項！

- ★活動を考える際には、目的や対象を明確にする。
- ★互いの意見を聞く際の視点（自分の意見と比べる、気になることを考える等）を確認することで話し合いをより深める。
- ★思考ツールの選び方、活用の仕方 → ねらいを達成するために何が確か単元の流れも考慮し判断する

指導助言（溝渕 指導主事より）



- 昨年度からの学びを見事につないでいる。
- グループでの話し合いはとても活発で、自分の言いたい意見も言いつつ、折り合いもつけることができ、話し合いの力がついてきている。
- お弓祭りを存続させるために自分たちができることを考える、自分ごととして考えている姿がたくさん見られた。
- ★考えるための技法を活用する意義（思考ツール）学指 P.83～85
思考ツールを児童が自分のものとして身に付け、実社会（実生活）の課題解決において自在に自分で使えるようになるためには総合だけでなく他の教科でもどんどん使っていかなければいけない。うまくいったりいかなかったりする経験を積むことが大切。
- ★ピラミッドチャートでは1つの視点について考え動かしながら活用していくと良い。



参観者より授業について



○先生の構え

- ・昨年度までの取組と同じではなく、もっと北川村の魅力を伝えたい、もっとレベルアップしたいという子どもの思いから単元がスタートしている。
- ・事前に教師が打ち合わせをしたり、教材研究を深めたりしているからこそ子どもたちが自分事として考え、主体的に取り組んでいた。

○子ども

- ・地域の人にインタビューをしたり、実際に体験したりすることで内容理解が深まり、**地域の人の思いや願いもとに自分事として考え主体的に活動できている**と感じた。
- ・理由も含めて説明する力、互いの意見を聞き、質問や意見を出し合い**課題解決に向けて取り組む力が高まってきている**。
- ・子どもたちが意見を伝えたい、伝えようとする姿が見えるのは、日々の積み重ねや普段の学級経営の成果による。
- ・悩みながらも、**自分の言葉で理由もつけて説明し、生き生きと交流していたのが印象的**だった。
- ・**総合の学習を自分ごととして考えている姿**が見られ、お弓祭りを北川村の多くの人に知ってほしいと真剣に考えている姿が頼もしいなと感じた。

ふりかえりまとめ

1 授業や協議で学んだこと、今後に生かしたいこと

- 子どもの意見が出なかつたり、迷ったりした時も急かさずに待つことを心掛けたい。
- 他教科でも総合で学んだ力を活かす。（思考ツールの活用、理由や根拠をもとに述べる、振り返りで自分の思考を見取る等）
- 学びの足跡等を活用し、情報収集して分かったことや感じたこと、**自分たちの課題を共通理解し、取り組むこと**で主体的な活動につながる。

2 その他

- ゲストティーチャーは、短い時間でも、思いを語ってもらえるので大事な役割を担っていた。そして、子どもたちの学びに対する感想を伝えてもらうことで、次への意欲につながる感じた。
- 国語科の系統的な指導事項（話す・聞く・話し合う）を意識して、各教科等でも取り組むことで言語能力を高めていけたら良い。

3 授業者より

ゲストティーチャーの活用方法を吟味することの大切さや思考ツールの使い方を改めて聞き、違う使用方法も試していきたいと思った。また、キーワードを使って説明する力をしっかりと身に付けさせないといけないと思ったので、国語を基本にして身に付けるようにさせていきたい。

